

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教育方法論 The Theory of Teaching Method		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	必修 (教職課程必修(幼稚園教諭二種))	児童フィールドのみ	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育原理 保育者論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
幼稚園教諭免許状取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
藤原保利	本館2階	火・水・木・金の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
保育の方法の原理、保育方法の基本、幼児理解と保育方法、保育の計画と実践・評価、相互作用としての援助、遊びと援助、そして保育の連続性と循環性等々を題材として幼児教育の方法、指導についての知識、技術の習得を図り、幼児の「生きる力」の基礎を育むための、教育方法の最適化を考える。				
授業の目標				
①教育方法の最適化、「生きる力」の意味・内容についての基礎的な認識を持つことができるようにする。 ②教育方法の原理、保育における指導と援助に関する基本的知識、技術を習得することができるようにする。 ③子どもにとっての遊びの意味と意義、ねらいの総合性、指導の総合性の意味を習得することができるようにする。 ④個及び集団に対する適切な環境を構成するための基礎的な知識・技術を習得することができるようにする。				
授業の方法				
基本的には板書を中心とした講義形式で行う。単元終了時に小テストを行う。レポートの提出を求める。「調べる・考える学習」を重視した授業の展開を図る。				
学習の成果(学習成果)				
①幼児教育の方法、指導についての知識、技術を活用して、「生きる力」の基礎を育むことができる。 ②幼児の発達過程を十分に踏まえて、教育方法の最適化を図り、個及び集団に対する適切な環境を構成し、遊びを通じた総合的指導によって、子どものあらゆる領域での発達と学びを保障することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明 レポートのテーマ、内容、提出期限等の説明			
第2回目	保育の方法の原理 保育の方法とは 保育における指導と援助			
第3回目	保育方法の基本 幼児とともに創る生活 共にあるということ			
第4回目	幼児期の発達と保育方法 発達観と保育方法 一人一人の発達に応じた援助 状況をとらえた指導 (小テスト)			
第5回目	幼児理解と保育方法 子どもからのメッセージを聴き取る・感じとる 発達の共通性			
第6回目	一人一人の発達 発達の共通性 集団の特性			

第7回目	保育の計画と実践・評価 長期の計画・短期の計画 子どもの創り出す生活 (小テスト)			
第8回目	保育の記録、評価 記録・プロフィールやエピソード 保育と評価			
第9回目	遊びと援助 子どもを持つ総合性 保育の持つ総合性 子どもにとっての遊びの意義			
第10回目	遊びを生み出すということ 遊びの展開と援助 遊びと環境 (小テスト)			
第11回目	一人ひとりと集団への援助 一人ひとりが育つ 集団が育つ			
第12回目	一人ひとりと集団の関係 育ちあいのある生活 保育者の価値観を伝える (小テスト)			
第13回目	子どもの生活の流れの中で 家庭・地域との連携 地域の中の幼児教育			
第14回目	保育者としての自分を問う 試験			
第15回目	子どもが求める保育者 保育者としての自分を育てる			
成績評価の方法と基準				
評価の領域		割合	評価の基準	
授業参加態度		10%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。ディスカッションの場面で自分の意見を述べる。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問する等々。(詳細はガイダンス時に説明する)	
レポート		20%	詳細に課題を探究し、内容構成もしっかりとしており、課題の要件を十分に満たしている。(詳細はガイダンス時に説明する)	
調査報告書				
小テスト		20%	単元終了時に小テストを4回実施する。授業や教科書に書かれている内容を十分に習得している。(詳細はガイダンス時に説明する)	
試験		50%	論述式である。設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び教科書に書かれている範囲を超えて、自分の考え方が示されている。(詳細はガイダンス時に説明する)	
発表内容(態度含む)				
その他				
教科書と参考図書				
教科書:「保育原理」待井和江編 ミネルバ書房 参考図書:「保育方法論」高杉自子他編 光生館				
履修上の留意点・ルール				
課題意識をもって授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止。				